東京八王子西ロータリークラブ
会長賞

廣瀬　葵（ひろせ あおい）　由木中央小　3 年生

作品名：しゅくだいをわすれたら・・・

図　書：先生、しゅくだいわすれました

ブックリストで「先生、しゅくだいわすれました」という題名を見つけ、面白そう、どんな話だろうと思い、読むことにしました。

このお話はゆうすけという男の子が宿題をわすれ、うそをついてごまかそうとすることからはじまります。でもうそだとばれ、先生に「すぐばれるのはだめ、聞いた相手が楽しくなるのじゃなきゃ」と言われます。そこでゆうすけは、二時間かけてわすれた理由を考え、次の日発表します。先生が「じゃあ仕方ないわね」なんて言うから、それから毎日一人がわすれてくることになりました。

私がもしこのクラスにいたら、毎日友だちの宿題をわすれた理由が聞けて、楽しいだろうなあと思いました。私の番になったら、空から庭におか子の家がふってきたという話をしようと思います。でも、二回目や三回目は考えるのがむずかしくなって、この本みたいに、「宿題やってくるからいいよ」と言うと思います。

この本は先生が宿題を作るのをわすれたお話で終わります。私は小さい時からうそはいけないと言われていたのに、この本では先生までうそをつくから楽しいなあと思います。

私はうそには色々な種類があると思います。例えば人をかなしませたり、きずつけたり、だましたりするうそです。ようち園の時、男の子がほかの子にいじわるをしました。先生が「なんでいじわるしたの」と聞くと、「だってたたいてきたから」とたたかれてないのにうそをつきました。こういうのは、ついてはいけないうそだと思います。

次に楽しいうそや、面白いうそがあります。ゆうすけや先生のうそはこれです。エイプリルフールのうそも楽しいです。

ほかにやさしいうそもあります。私には双子の弟と妹がいます。妹は足がはやいけど、弟はあまりはやくありません。でも弟ががんばって走った時、みんなおそかったねとは言わないではやかったねと言ってあげます。

私は楽しいうそややさしいうそは、ひつような時もあるけど、わるいうそはいらないと思います。みんながわるいうそをつかなければいいなと思います。